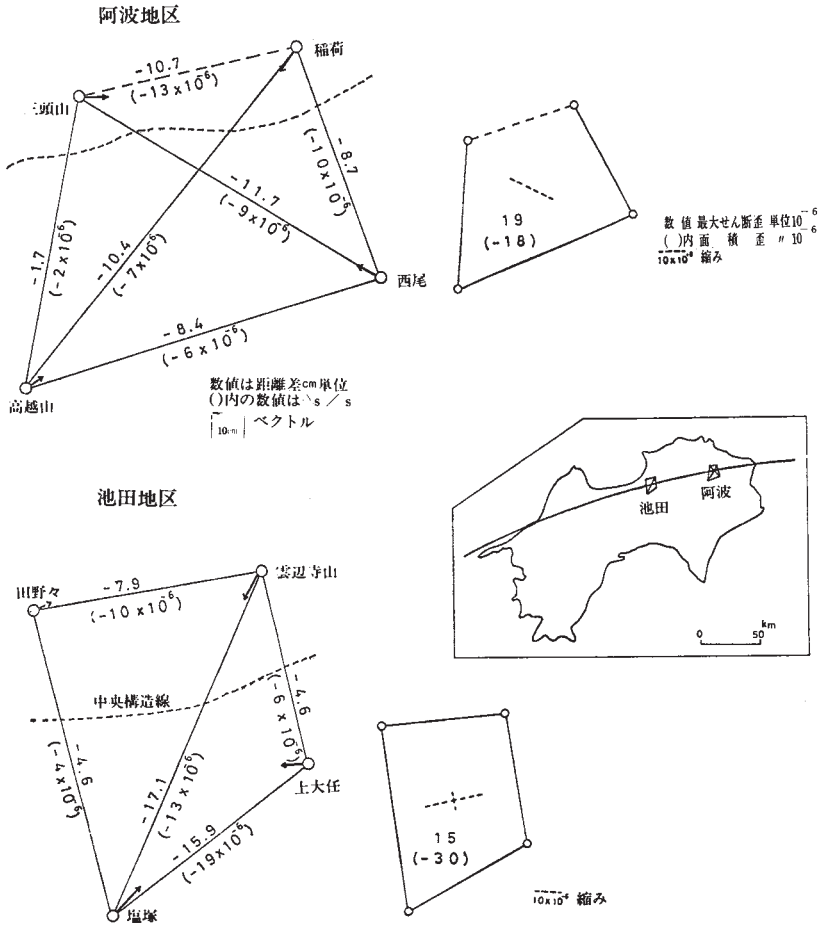
5－4　四国地方の精密変歪測量

Strain Surveys across the Median Tectonic Line in Shikoku District

国土地理院　地殻調査部
Crustal Dynamics Division, Geographical Survey Institute

四国東北部の池田，阿波の２地区で実施した，中央構造線を横断する精密変歪測量結果について報告する。

観測結果を第１表に，歪を第１図に示す。図に見るごとく，明治以来約80年間の変動は全体に縮みで主歪は約2×10^{-5}であるがその方向は，両地区で異なる。歪の方向は，阿波地区では構造線の運動方向に対応するが池田地区では矛盾する。なお，この期間に南海地震を含むが，この地区は復旧測量の改算地域なので，明治成果との比較を行った。今後の観測に期待したい。



第１図　四国地方の精密変歪測量結果

Fig. 1　changes of horizontal strain around. Median Tectonic Line in Shikoku District.

第１表　観測結果

Table 1　Result of Distance Measurement.

阿波地区

区　　間	1977　(II)	1892　(I)	(II)-(I)	備　考
西　尾～三頭山	12 849.104	12 849.221	-11.7	
高越山～三頭山	10 752.506	10 752.523	- 1.7	
高越山～西　尾	13 699.651	13 699.735	- 8.4	
高越山～稲　荷	15 881.034	15 881.138	-10.4	
稲　荷～西　尾	8 876.523	8 876.610	- 8.7	
三頭山～稲　荷	8 159.891	8 159.998	-10.7	

池田地区

区　　間	1897·1901　(I)	1976　(II)	(II)-(I)	備　考
雲辺寺山～田野々	7 795.051	7 794.972	- 7.9	
〃　～塩　塚	13 548.941	13 548.770	-17.1	
〃　～上大任	7 982.883	7 982.837	- 4.6	
塩　塚～田野々	11 620.225	11 620.179	- 4.6	
〃　～上大任	8 577.763	8 577.604	-15.9	